

栗原市地震防災マップ

揺れやすさマップ 栗駒地区(1/2)

どこでも起こりうる直下の地震の場合

○この揺れやすさマップは、どこでも起こりうる直下の地震(マグニチュード 6.9)を想定した場合の震度分布を、100メートルメッシュ毎に表示しています。
 ○マグニチュード6クラスの地震の場合、いつ、どこで起こるかわからないのが実情です。そのため、防災上の可能性として、市内全域にマグニチュード6.9の地震を想定しました。全域が同時にこの震度になることを表現しているものではありません。

栗駒地区

金成地区

鶯沢地区

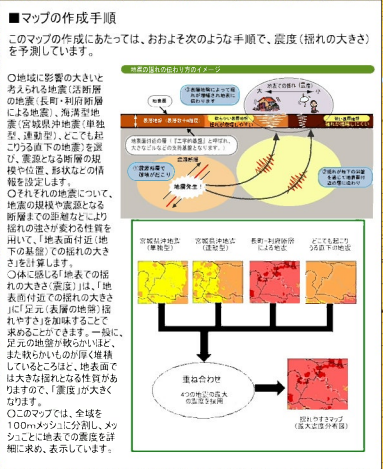
一迫地区

築館地区

■震度の大きさ＝震度とはなにか？

地震が起こるとき、ある場所での揺れの程度を表すのが震度です。
 震度の決め方は国によって異なり、わが国では気象庁が定めた気象庁震度によって震度を表しています。従来の気象庁の震度(気象庁震度)とは異なり、気象庁が定めた気象庁震度は、震度計の振り子(振り子)が振り切れて10段階に設計されました。また、気象庁が発表する震度は、従来の気象庁の職員が手に持った揺れ計や測定の観測状況などから判定していましたが、震度は震度を観測するための「震度計」が設置されるようになり、この震度計が観測した震度(気象庁震度)が震度として発表されるようになりました。

震度	人間	室内の状況	屋外の状況	木造建物
1	ほとんど感しない。			
2	めったに感しない。気づく人は、めったに感しない。			
3	めったに感しない。気づく人は、めったに感しない。	室内の状況がわかる。家具が揺れる。ガラスが揺れる。	屋外の状況がわかる。電線が揺れる。看板が揺れる。	木造建物の揺れがわかる。
4	めったに感しない。気づく人は、めったに感しない。	室内の状況がわかる。家具が揺れる。ガラスが揺れる。	屋外の状況がわかる。電線が揺れる。看板が揺れる。	木造建物の揺れがわかる。
5	めったに感しない。気づく人は、めったに感しない。	室内の状況がわかる。家具が揺れる。ガラスが揺れる。	屋外の状況がわかる。電線が揺れる。看板が揺れる。	木造建物の揺れがわかる。
6	めったに感しない。気づく人は、めったに感しない。	室内の状況がわかる。家具が揺れる。ガラスが揺れる。	屋外の状況がわかる。電線が揺れる。看板が揺れる。	木造建物の揺れがわかる。
7	めったに感しない。気づく人は、めったに感しない。	室内の状況がわかる。家具が揺れる。ガラスが揺れる。	屋外の状況がわかる。電線が揺れる。看板が揺れる。	木造建物の揺れがわかる。



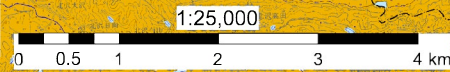
凡例

震度

- 震度2以下
- 震度3
- 震度4
- 震度5弱
- 震度5強
- 震度6弱
- 震度6強(1)
- 震度6強(2)
- 震度6強(3)
- 震度6強(4)
- 震度6強(5)
- 震度7

※このマップにおいて、川・湖沼等の周りや市の境界部等で、計算上、色の塗られていない箇所があります。

＜問い合わせ先＞
 栗原市 建設部 建築住宅課
 TEL 0228-22-1153 FAX 0228-22-0313



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図5000(地図画像)及び数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平19総検 第990号)

栗原市地震防災マップ

揺れやすさマップ 栗駒地区(2/2)

どこでも起こりうる直下の地震の場合

＜＜問い合わせ先＞＞
 栗原市 建設部 建築住宅課
 TEL 0228-22-1153 FAX 0228-22-0313

○この揺れやすさマップは、どこでも起こりうる直下の地震(マグニチュード 6.9)を想定した場合の震度分布を、100メートルメッシュ毎に表示しています。
 ○マグニチュード6クラスの地震の場合、いつ、どこで起こるかわからないのが実情です。そのため、防災上の可能性として、県内全域にマグニチュード3の地震を想定しました。全県が同時にこの震度になることを表現しているものではありません。

■マップの作成手順
 このマップの作成にあたっては、おおよそ次のような手順で、震度(揺れの大きさ)を予測しています。

○地震学的知見(活断層の分布、長期・中期断層による地震、浅層地殻に発生する地震の発生型、運動型、どこまで起こり得るかの想定)に基づき、想定される断層の規模や位置、形状などの情報を設定します。
 ○それぞれの地点について、地質の図解や地層となる地質学的図解などにより揺れやすさ(地質学的図解)を用いて、地表面付近(地表面直下)での揺れの大きさを計算します。
 ○この際、地表面直下の地質学的図解(震度)は、「地表面付近での揺れの大きさ」に地表面直下の揺れやすさ(地質学的図解)を加算することで求められます。一般に、正の地質学的図解(揺れやすさ)を加算することで、揺れやすさが増加してきます。揺れやすさの増減は、揺れやすさの増減(揺れやすさ)に比例して、揺れやすさが大きくなる場合があります。このマップでは、全図を100メートルメッシュに分割し、メッシュ毎に計算された震度(揺れやすさ)を求め、表示しています。

花山地区

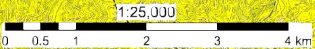
栗駒地区

- 凡例**
- 震度**
- 震度2以下
 - 震度3
 - 震度4
 - 震度5弱
 - 震度5強
 - 震度6弱
 - 震度6強(1)
 - 震度6強(2)
 - 震度6強(3)
 - 震度6強(4)
 - 震度6強(5)
 - 震度7

■震度の大きさ＝震度とはなにか？

地震が起きたとき、その場所での揺れの程度を表すのが震度です。震度の決め方は国によって異なり、わが国では気象庁が定める気象庁震度による震度を示しています。従来の震度から震度階級として異なり、平成20年10月からは震度は従来の震度(震度)に代わり、震度階級(震度階級)として示されています。また、従来の震度(震度)と異なり、震度階級(震度階級)として示されています。また、従来の震度(震度)と異なり、震度階級(震度階級)として示されています。

震度階級	人間	建物の状況	建物の状況	未建物の状況
1	ほとんど気づかぬ。			
2	気づく。			
3	気づく。室内のものが揺れる。			
4	気づく。室内のものが揺れる。戸が開く。			
5	気づく。室内のものが揺れる。戸が開く。壁にひび割れが生じる。			
6	気づく。室内のものが揺れる。戸が開く。壁にひび割れが生じる。家具が倒れる。			
7	気づく。室内のものが揺れる。戸が開く。壁にひび割れが生じる。家具が倒れる。建物の一部が壊れる。			
8	気づく。室内のものが揺れる。戸が開く。壁にひび割れが生じる。家具が倒れる。建物の一部が壊れる。道路が壊れる。			
9	気づく。室内のものが揺れる。戸が開く。壁にひび割れが生じる。家具が倒れる。建物の一部が壊れる。道路が壊れる。電線が倒れる。			
10	気づく。室内のものが揺れる。戸が開く。壁にひび割れが生じる。家具が倒れる。建物の一部が壊れる。道路が壊れる。電線が倒れる。建物の一部が壊れる。			
11	気づく。室内のものが揺れる。戸が開く。壁にひび割れが生じる。家具が倒れる。建物の一部が壊れる。道路が壊れる。電線が倒れる。建物の一部が壊れる。道路が壊れる。			



この地図は、国土地理院長の承認を得て、関係発行の数値地図5000(地図画像)及び数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平19総検 第990号)

※このマップにおいて、川・湖沼等の周りや市の境界部等で、計算上、色を塗っていない箇所があります。